

子どもたちに感動と笑顔を



8月26日(土)に養老町のホームタウンデーが開催されることを記念し、7月4日(火)に株式会社大垣共立銀行より、F C岐阜ホームゲームへの特別招待券100枚を寄附いただきました。寛雅樹常務取締役は「贈呈したチケットにより、子どもたちにスタジアムでプロの試合を観戦してもらうことで、会場の盛り上がりや熱量を肌で感じてもらいたいです。この経験が子どもたちに感動を届け、笑顔にしてくれることを願っています」と話しました。いただいたチケットは、町内のサッカー少年団や中学校・高校のサッカー部員などに配布し、スポーツ振興に繋げていきます。

F C岐阜は県下42市町村すべてがスポンサーである唯一のクラブチームです。町民の皆さまもF C岐阜のこれからの活躍を期待し、ぜひ一緒に応援しましょう。

武道の聖地でも“いつもどおり”



7月4日(火)に、双葉剣道の藤田翔選手、藤川^{れいら}伶来選手、藤田葵選手が、日本武道館(東京都千代田区)で開催される第57回全国道場少年剣道大会への出場を報告するために川地憲元町長を訪問しました。選手たちは「練習で磨いてきた技を試合で出したいです」「まずは初戦突破を目指して、一戦一戦大切にしたいです」「練習の成果を発揮して、いつもどおりの剣道をしたいです」とそれぞれの抱負を語りました。

町長は「武道の聖地である日本武道館で試合ができることは、とても名誉なことです。緊張するとは思いますが、剣道はメンタルスポーツなので、気持ちで負けないよう、リラックスして、悔いの無い試合をしてきてください」と激励しました。

地元開催! ホームで挑む全国大会



7月4日(火)に桐山^{ふうか}絢選手(はしまモア)と三輪^{ふうか}楓華選手(同)が、愛ドーム(岐阜市)で開催される第9回全国中学生フェンシング選手権大会への出場を報告するために川地憲元町長を訪問しました。桐山選手は「練習の成果を十分に発揮して、指導してくれた先生や協力してくれている家族への感謝の気持ちを忘れずに臨みたいですよ」と話し、三輪選手は「初めての全国中学生大会への出場で、年上の選手との対戦になることが多いとは思いますが、自分の良いところを出してベスト8を目指したいです」と話しました。

町長は「岐阜県で開催される全国大会ということで、いつもどおり落ち着いて試合に臨むことができるかと思います。地元の代表、また、町の代表として、活躍してきてくれることと期待しています」と激励しました。

室原出身の名医 北尾春圃



6月25日(日)に福源寺(室原)の境内にて、北尾春圃顕彰法要が行われました。北尾春圃は代々医を業とする家の子として室原に生まれ、江戸時代の名医として知られた人物です。その腕前は「診察待ちの人々で門前に市場ができるほどであった」と伝えられています。正徳元年(1711年)に、朝鮮通信使が大垣に立ち寄った際に、朝鮮の医師、奇斗文^{きとうぶん}に会談を申し込んだことがよく知られていますが、北尾春圃と奇斗文の会談は深夜に及び、奇斗文は北尾春圃を「東海に天民あり」と絶賛しています。その功績をたたえ、現在も遺族や室原地域の住民などにより顕彰と法要が行われています。